

令和4年度 第2回学校運営協議会(コミュニティスクール) 報告

1. 日 時:令和5年2月8日(水) 午前9時20分から11時20分まで
2. 場 所:静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校
3. 出席者:島田 晴夫様(元伊東市立中学校教諭)
荻野 耕介 様(伊豆介護センター)
田畑 まどか 様(富戸地区放課後児童クラブ)
梅谷 知寛 様(伊東高等学校城ヶ崎分校PTA会長)(欠席)
望月 正仁 様(NPO法人伊豆高原BASE)(欠席)
坂本 淳 様(PTA会長)(欠席)
学校 増井(教頭)、佐藤弘康(高等部主事)
4. 内 容 司会、記録(佐藤)

(1) 教頭あいさつ

(2) 学校経営評価について

○学校経営報告書(自己評価)について説明 →:ご意見

【守る】

- ・コロナに対応した教育活動を徐々に検討していく
- ・スクールカウンセラーを活用し、生徒の自己調整力をつける指導を行うとともに、職員研修等で学年をまたいで生徒理解に取り組んでいる。

【育む】

- ・ICT 機器を使った教育活動をさらに取り組んでいきたい。

【つなぐ】

- ・中学校と連携して、生徒にあった進路選択(相談)に応じている。
 - ・次年度は新高校とどんな交流ができるか、体制を整えていく
- 小から中に情報がわたっているのか親としても何を学校に伝えたらいいのか分からない。体制を整えてほしい。

【高める】

- ・職員の位置合わせで、課題のある生徒について共通理解をしている。
- ・職員の業務の見直しをしている。

(3)不祥事根絶について

- ・生徒に関する人権研修を職員間で行った。その中で、教員同士、生徒同士の人権についても考えていく必要があると話し合われた。

→人権について生徒に関してどのような取り組みをしているのか?

- ・～さんと付けることは基本取り組んでいる。
- ・生徒の関わり、教員同士の関わりについて気になったことを言い合える環境づくりに取り組んでいる。

(他機関での取り組みについて)

→障害者雇用をしていく中で、正規雇用の方の仕事量と違うのは当然のこと。
職員が行う仕事の中で、障害者雇用の方ができる仕事を抜き出している。雇用することで社員の負担を減っているという考えを職員に伝えている。

→障害の有無に関係なく、子供同士は上手に関わっている。学校と連携し、中学校でもその関係ができるようになっていくとよい。

個々に特性も違うのでそれに合わせた指導をする(生徒を知る)ことで人権も育っていくのではないかと

(3)校内見学(作業学習)

(4) 新校舎移転について

- ・在校生の保護者対象に説明会を実施。
アンケートで出た質問事項については、学校 HP にて回答
- ・在校生についても全校集会を開き、教頭から移転についての説明をした。